

# 「カウボーイ・ダンス」における ドーシードー

Chapter “The Docey-Doe” in “Cowboy Dances” written by Lloyd Shaw

ロイド・ショー著「カウボーイ・ダンス」は、スクエア・ダンスの原典です。

1/2 see-saw を 1/2 left dosado に変更しました。

原本初版	1939年7月
第13版	1952年2月(1970年頃入手)
著者	Lloyd Shaw (1890-1958)
翻訳発行日	2021年8月, 2022年5月修正
翻訳者	菅原 光俊

©日本語翻訳の責任を持つべく、翻訳著作権を留保します。翻訳者名付なら配布は自由です。

なお原本は、著者死亡後50年で日本の著作権は既に切れていましたので、現在の死後70年は適用外です。なお、米国では原本の著作権は途中で切れずに、死後70年まで有効です。

# 第1部 ダンス

## 第5章 もっとスクエアを

### ドーシードー Docey-Doe

#### スクエア・セットの作り方

(訳注: 1900年代前半当時の)アメリカ西部のダンスの夕べの習慣的な順番として、スクエア・ダンスを2回、次にラウンドダンス、またスクエア・ダンスを2回、・・・と踊られていた。やがてラウンドダンスがどんどんモダン・ワンステップやフォックストロット等に傾き、(1939年当時の)最近の傾向として大部分ラウンドダンスで多分一晩にスクエア・ダンス2回だけコールされる状況になりました(スクエア・ダンスは、コーラーと呼ばれる人の出す指示「コール」に従って踊るため、コールされると表現します)。もしあなたが昔の西部の踊りを踏襲したいなら、ラウンドダンスをバックグラウンドとして続けて、スクエア・ダンスを2または1回となるプログラムを構成してください。

初めてのダンスとして、ライ・ワルツ Rye Waltz 等のやさしいラウンドダンスだった場合、次のダンスのためにセットを作るよう呼びかけます。それは通常”Form your sets for another square”や”Form your sets for a quadrille”です。そしてコーラーはフロアを歩き廻り、セット作りを手伝います。カップルが足りないセットを見つけたら、セットが完成するまで「あと1組(one more ‘two’ here)」とコールします。全セットできて、さらに1組余っていたようなときは、「あと3組(Three more ‘twos’ here, let’s form another set.)」とコールします。「1組来ました。サンキュー。あと2組。1組来た来た。あと1組お願い、来てください、踊りを始めたいので。もう1組!」必要ならサイドラインの外から引き込みましょう。

たいていは、コーラーが音楽をスタートさせ、コールを始めようとするだけで、だれもが何が始まるかはわかります。ただし、これが初めてのダンスの時は、コーラーは動作説明が必要です。今回はドーシードーDocey Doeを教えましょう。

この動作は(次々頁の写真参照)、通常 do-si-do (訳注: 現代スクエアダンスの Callerlab では Dosaso と表記)とも書かれ、多くのスクエア・ダンスでは何回も繰り返されます。(この時代のスクエア・ダンスでは)指定された組が他の組とこれを実行するときはいつでも、サブコーラス(準繰返し動作)として circle four and docey doe と掛かります。これが終わったら、順次残りの3組が行い、そのあと一般的なコーラス(繰返し動作)としてアレマンド・レフトとグランド・ライト・アンド・レフト Allemande left and Grand right and left になります。4人で行うサブコーラスはほぼ共通でありこの後すぐ習得することになります。

## (アメリカ西部の4人の docey-doe の)起源

ここでドーシードーの起源についての議論をするのは重要です。フランスから伝来したニュー・イングランド・カドリール共通の動作の一つが次頁写真のドーサードー dos-a-dos または back to back(背中合わせ)です。それは(バージニア・リールで、対向したコーナーのように)男女が前進して近づき、互いに触れ合わないようになり過ぎて背中合わせで廻り込み、そしてそれぞれ元の位置へと後退します。フランス語の発音は「ドーサードー」で英語的な発音表記では "dose-ah-doe" となり、英国のロンドンや米国東部のボストンでは今でもフランス語どおりに発音されています。しかしながら、英国北部のスコットランド低地や、そこからの米国東部アパラチア山脈への移民によって「ドーシードー」"do-si-do" と訛り、たぶん、動作も複雑で楽しい形になったと思われます。一般的な英国人は発音間違いの天才です。例えば、"cross of the dear Queen" という意味のフランス語 "chère reine" が "Charing Cross(ロンドン付近の地名)" と訛り、中東のキリスト生誕地ベツレヘム "Bethlehem" が "bedlam"(不穏な)と訛り、向かい合って対抗するラインダンスの意味の "contra dance" を "country dance"(田舎踊り)と訛っています。なので、ドーサードー dos-a-dos からドーシードー "do-si-do" の訛りは、充分ありうる変化と思えます。誰かが書き留めてから何年後かに、音楽の「ソ、ラ、シ、ド」の高い方との関連で、「ド、シ、ド」と間違えて書いたとか・・・やがて西部に伝わるにつれ、2語のドーシードー "docey-doe" と発音された。私のコールを聞いた文学上の友人が書いた「docey-doe と名付けられた山越えの熊の絵」という記憶が、私の印象が確立しました。それゆえに、私は、あえて習慣から外れてでも、アメリカ西部型ドーサードーを docey-doe と表記することにします(訳注: 彼限定の表現で、現代のフォーク・ダンスやスクエア・ダンスでは一般的ではない)。

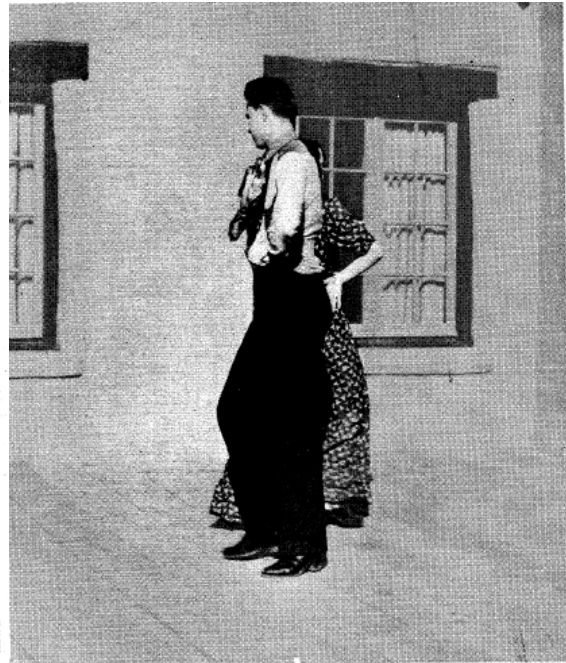
ケンタッキー・ランニング・セット Kentucky Running Set で docey doe の第一の隊形が見られます。それは、男性が背中合わせ(つまり dos-a-dos)、女性が向かい合わせで4人が手を繋いだサークルです(訳注: 4人のアラモ・スタイル)。各男性が、対角 opposite の女性を右手で自分の背中側を廻し、今度は自分のパートナーを左手で廻してその女性を次の組へとリードするのは自然です。この単純化版が右手のスターとなります。これは4人のサークルも無いし、背中合わせもありませんが。

のちに、4人全員が内側を向いたサークルでも、対角オポジット opposite の女性と右手で廻る前に新たな動きが欲しくなるのは自然ですし、動作が複雑になることは面白くなることです。各男性がパートナーを、対角の女性の向こう側に(つまり各女性はオポジットの組の間を通過して)彼女のパートナー男性の右手から左へ送ります。次に2人の男性は廻って(pivot)中へ入り込んで背中合わせ(dos-a-dos)で通り過ぎ、このときパートナーとの左手はずっと繋いだままです。そしてオポジットの女性を右手で回転させるポジションに必然的になります。もちろん最後はパートナーを左手で回転させます。以上は私には少なくとも、



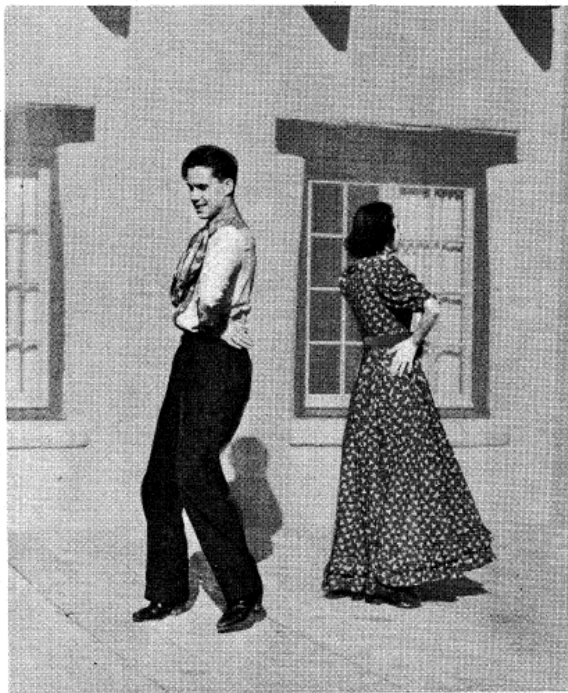
1. Pass each other to the left, grazing shoulders.

1. 肩を擦るように、各々左側を通り過ぎる



2. Step sideways behind each other.

2. 互いに背中合わせで、横にステップ



3. And still back to back, encircle each other on the opposite side.

3. 背中合わせのまま、円を描き相手の位置に



4. Grazing left shoulders as you return to place.

4. 左肩を擦るように、元の場所に戻る

DOS-A-DOS

フランスの Dos-a-dos から西部の docey-doe に至る進化の過程を見ているように思えます。

## (アメリカ西部の 4 人の docey-doe の)動作説明

docey-doe を短時間で理解するには、まずは単純にかつゆっくりとスタートすべきです。2 組のカップルが、手を取り合って 4 人のサークルを作りましょう。この時、各男性はパートナーを右側に、オポジット(もう 1 組のカップル)の女性を左側に置きます。

各男性は、オポジットとつないだ手を離し、パートナーをオポジットの男女間を通過させるように、パートナーを右側から左側へ移動させます。もちろんそのためにはパートナーとの手も離します。その後、男性は(訳注: 再会した)パートナーの左手と自分の左手を繋ぎます。すなわち、各男性は、両手を離して、オポジットの女性の向こう側を通すようにパートナーを自分の右手から左手に移動させ、オポジットの女性を自分とパートナーの間を通すように移動させます\*1(訳注: 写真では、女性は通過後に背中合わせでパートナーに接近)。

続けて、(訳注: 移動した)パートナーと左手を取り、彼女を自分の背中側を通します。もちろん女性は男性を左回り(訳注: 反時計回り)に廻り込みます。男性は、女性と 1 回転せずに、ずっとオポジットの男性と向き合っています\*2。女性が後ろを廻っているときには、もちろん男性は手を離さざるを得ません。さもなくば男性が女性と一緒に廻ってしまうため、全てが台無しになってしまいます。女性は男性を廻り続け、オポジットの男性と右手が取れる位置まで進みます。つまり、各男性は自分のパートナーとまず左手をつないで自分の後ろを通しつつ、次に手を離し、次にやって来るオポジットの女性に右手を差し出してつなぎます。

男性は今度はオポジットの女性と右手をつないで、同様に自分のうしろを(訳注: 時計回りに)通しつつ、途中で手を離すことにより、オポジットの女性は男性の周りを一周することができます。

そしてやって来る自分のパートナーと左手を取ります。パートナーを廻すようにして、彼女が右掌を腰の後ろに置いて待っているところに男性の右手をうしろから置き、次のダンスを続けるための指定位置へ二人で一緒に歩きます\*3。

---

\*1 訳注: 女性側の視点では、"ladies, half left dosado" つまり女性どうおしで左肩ドーサードーの前半の動作をします。

ただし、**背中合わせの位置**になった時に、顔だけ左を向き、左手を伸ばして、自分のパートナーに向けます。

\*2 訳注: 男性は「ずっとオポジットの男性と向き合っています」は、初心者に動作を教える際には判りやすい表現です。

上達したら、次々頁の写真のように、パートナーと左手をつないだ際にはパートナーの動きに合わせて体を 1/4~1/2 回転して手を離しますが、顔の向きは次に来るオポジットの女性を待つべくサークルの内側向きに残っています。同様にオポジットの女性と右手をつないだ際には彼女の動きに合わせて体を約 1/2 回転して手を離しますが、顔の向きは次に来るパートナー見るべくサークルの内側向きに残っています。

\*3 訳注: カーティシー・ターン courtesy turn です。

Later, it seems natural that the four would circle while all facing in, and a new movement would be required before they could conveniently swing their opposites with their *right*, and the more complicated it was the more fun it would be. So we find a form where each gentleman passes his lady beyond the other lady (that is, each lady passes between the opposite couple) from her partner's right hand to his left, then the two gentlemen swing in and pass each other back to back, *dos-a-dos*, still holding their partners by the left hand and continuing their pivots while keeping hold. They are now in a position and swinging in a direction which makes it inevitable to swing the opposite with the right and, of course, to finish by swinging partners with the left. This, to me at least, traces the evolution of the French *dos-a-dos* to the Western *docey-doe* with complete satisfaction.

Start very simply and very slowly, if you would save time. Let two couples stand holding hands in a circle of four, each gentleman's partner in his right hand, and the opposite lady in his left. Now let each gentleman break his hold with the opposite and pass his lady from right to left so that she passes between the opposite gentleman and his partner, of course, breaking holds with her partner to be able to do this, and then the gentleman takes her left hand in his left; that is, each gentleman passes his lady's left hand from his right hand to his left in such a way that at the moment of break between his two hands she passes beyond the opposite lady, and the opposite lady passes between him and his own lady. Now he continues the motion by passing her around behind him with his left hand, she, of course, doing a left turn. He must not turn with her, but must keep facing the opposite gentleman all the while. As she gets behind him he must, of course, let go her hand. Otherwise he would have to pivot around with her, and that would spoil everything. She continues encircling him, and as she comes around to his side she is in a position to be taken by her right hand by the opposite gentleman. So each gentleman passes his lady behind him with his left, releases her to let her go on around behind him, and reaches out with his right hand and takes the oncoming opposite lady. He passes her behind him with his right hand, releases her in the same manner so she can complete encircling him, and takes his oncoming partner with his left. As he turns her he puts his right hand behind her waist where her right hand palm upon her hip awaits it and walks with her to whatever position the continuing dance requires.

上記は、この部分の原語です。

この説明は言葉ではとても複雑に思えますが、考えさえ理解できればフロアでの動きは極めて簡単です。男性の初心者がまごつく要素が3つあります。最大の間違いやすい点は、常にオポジットの男性の方向を向いていることを忘れることと、男性が女性を自分のうしろを通す時に廻ってしまうことです。第二の間違いやすい点は、(訳注: 最初の動作で)自分のパートナーをオポジットの女性の向こう側を通す際に、パートナーと手を繋いだままにすることです。これは、もちろん、物理的に不可能で、結果はもつれてしまいます。少数の男性は、女性を自分のうしろを通す時に、女性との手を離すのを忘れていますが、もし手を離さずに完全に自分のうしろを通そうとしたら、大蛇のような長くてしなやかな腕が必要になります。

女性にも本命の間違いがあります。女性はパートナーの男性を左廻り(訳注: 反時計廻り)し、直ぐに離れてオポジットの女性のうしろを通り越してから、通常オポジットの男性を右廻り(訳注: 時計廻り)します。しかし、もし女性が自分のパートナーの男性と左手をつないで左手回転して、パートナーの後ろを廻ったとしても、問題なく動けます。しかし次にオポジットの男性を廻らない間違いがしばしばあります。女性は、両男性に対し、完全なフィギュア・エイト(8の字廻り)(訳注: 実際にはS字廻り)を実行する必要があります。

時々、男性2人を近くに向かい合わせで立たせて静止させたままで、フィギュア・エイト(8の字廻り)の連続として女性を自分のうしろを通す暫定的な練習方法があります。男性はまず自分のパートナーを左手をつないでから自分のうしろを通し、次にオポジットの女性を右手をつないでから自分のうしろを通す動作を、できるまで何回もくりかえします。たぶん、止まっている男性の周りをフィギュア・エイトで12回以上廻った後では、再びオポジットを先に廻るようなミスは無いでしょう。

男性はいつも互いに向き合っていることを覚え、女性は左廻り(訳注: 反時計回り)\*4から始めること、フィギュア・エイトは左廻り(訳注: 反時計回り)から始めることを覚えれば、ぜんまい仕掛けのようにスムーズに動けるようになります。

この動作の基本がマスターできたところで、少し滑らかにしましょう。いつも docey-doeの前に"circle four"が来ます。それは2カップルで、手をつないでサークルを作り、次に"docey-doe"がコールされるまで左へ(訳注: 左手の方向へ時計回りに)廻ります。しばしば"Four hands up and here we go, 'round and around and a docey-doe'"とコールされます。"four hands up"の意味は、4人が両手を(訳注: 肩の高さに)上げて握りしめることです\*5。これは"eight hands 'round'"が8人の両手のサークル左へ(訳注: 左手の方向へ時計回りに)を意味するのと同様です。ダンサーは、サークル左から、ドーシードーに入るのが入り

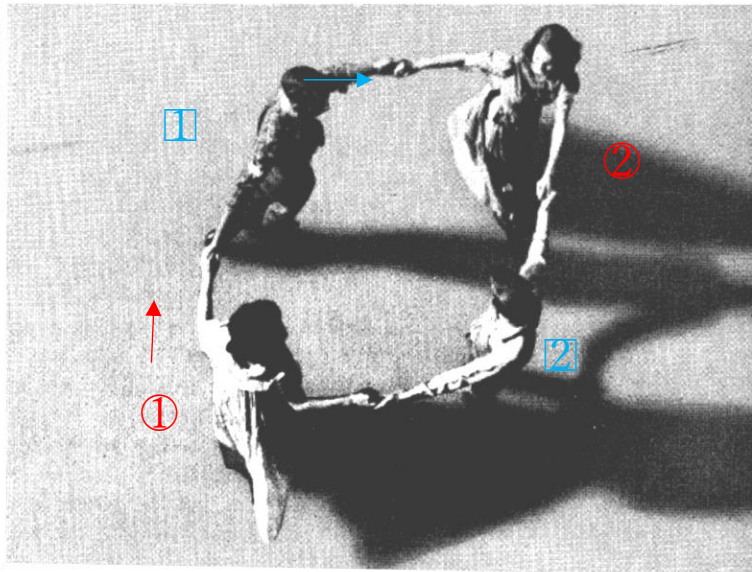
---

\*4 訳注: 4人で「サークル左へ=circle left」はサークル全体が時計回り(=右回りとも言う)、男性の周りを女性が「左廻りする」のは反時計回り、互いに左手を取って廻る=allemande left等は反時計回り、カップルで「リバース・ターン=left face turnをする」のは反時計回りです。ダンサーは何の気なしに使っていますが、使い分けにご注意を)。

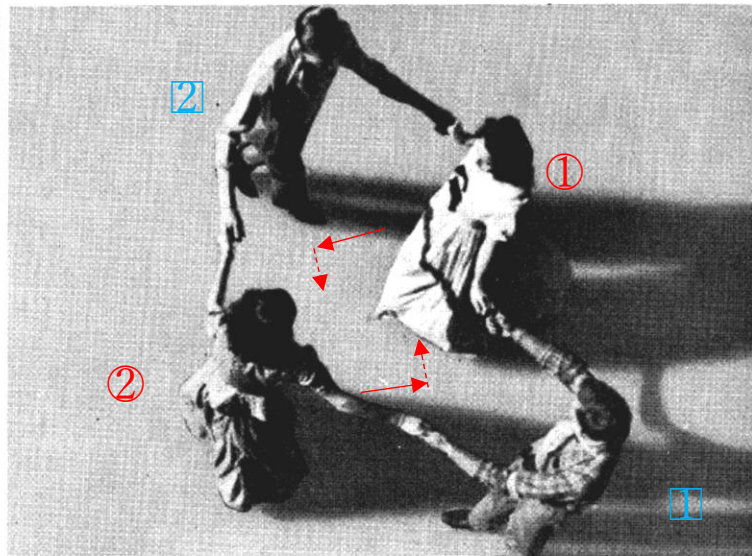
\*5 訳注: 2カップル=4人だと手は8本なので8 hands が正しそうですが、習慣的に"four hands up"と言います。

# DOCEY-DOE

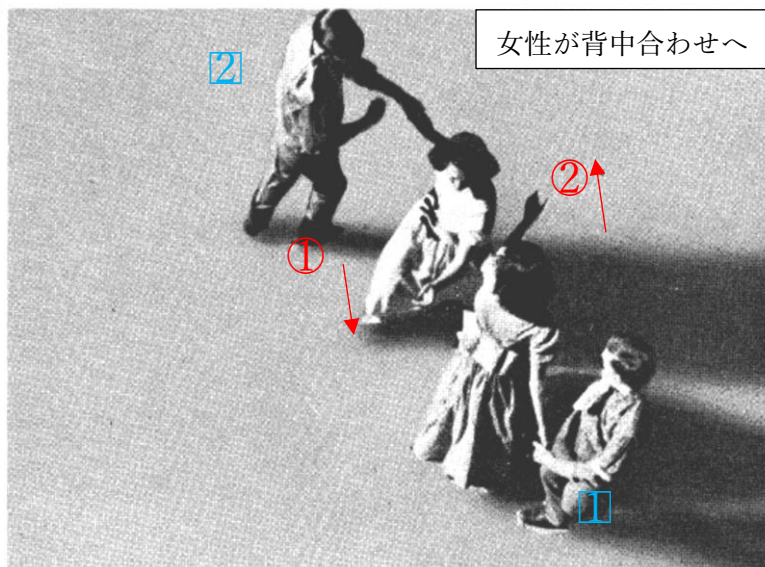
(数字と矢印は訳注)



1. カウント 1~2  
"Four hands up"  
サークル・レフト半回転

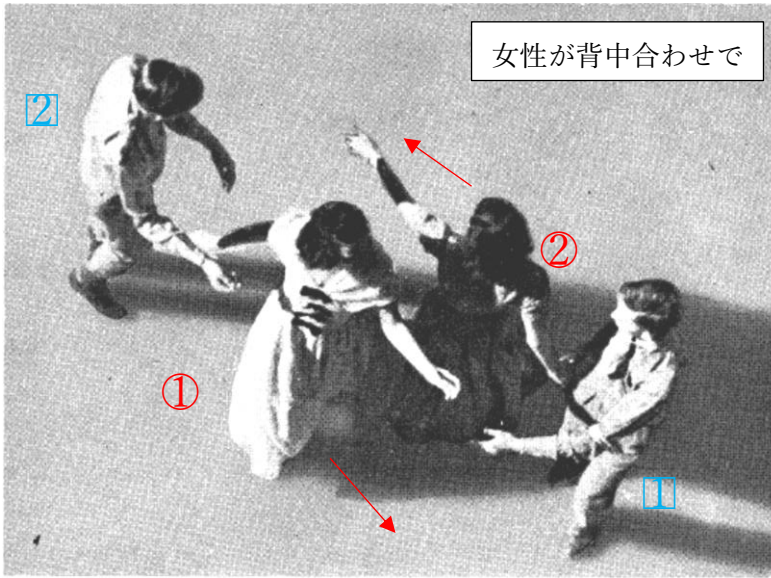


2. カウント 3~4  
"and here we go"  
女性の位置交替  
(訳注: 女性は 1/2 シーズ)

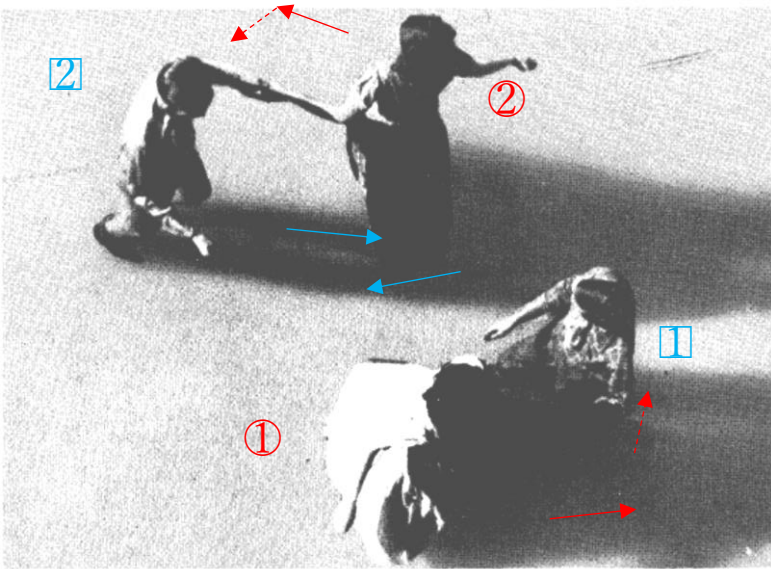


3. カウント 5~6  
"Around and around"  
女性が背中合わせ通抜け  
(訳注: 女性は 1/2 シーズの  
続き。顔だけ左)

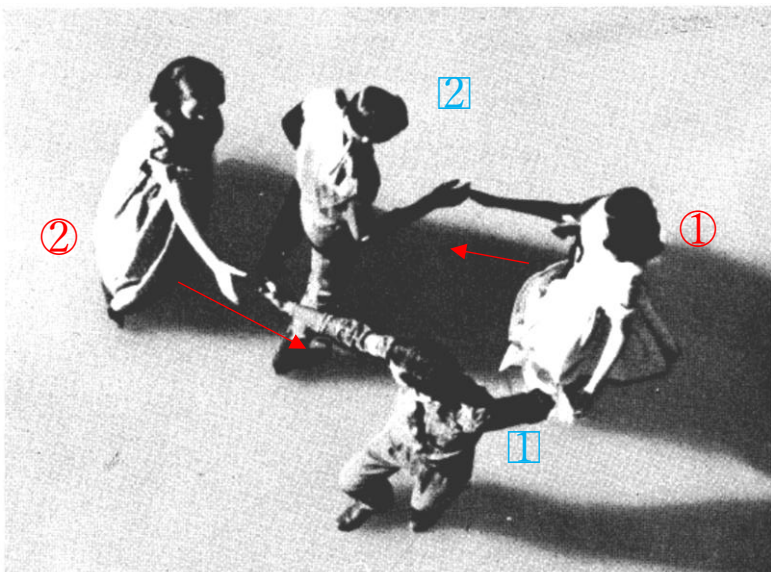




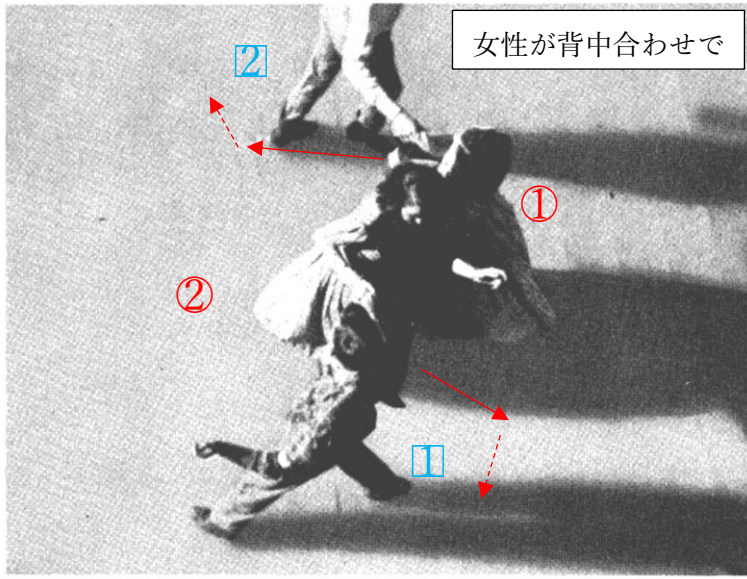
4. カウント 7~8  
*"and a docey-doe"*  
 女性が背中合わせ(訳注:  
 女性は 1/2 シーズの続き)



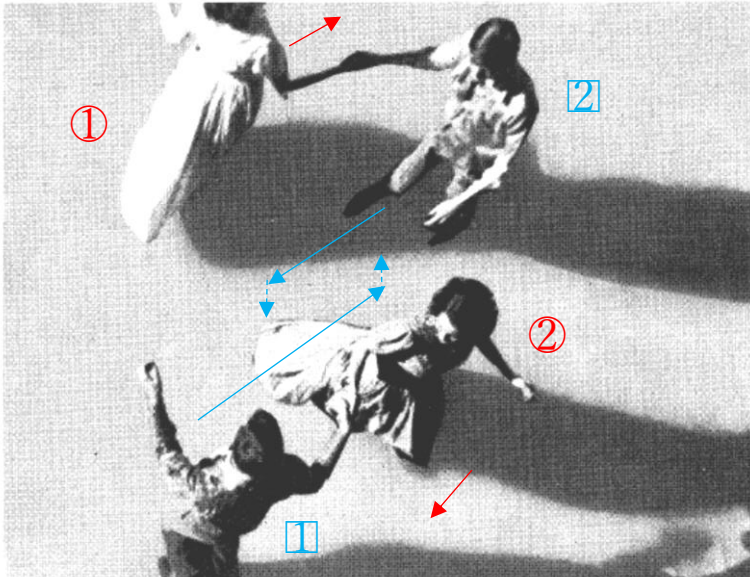
5. カウント 9~10  
*"A doe and doe"*  
 パートナーと左手  
 男性は方向変えず、  
 男性は女性を後ろを通す  
 (訳注:女性は男性の周りを  
 時計回りに廻り。男性  
 はコーナー向きで、動かず)



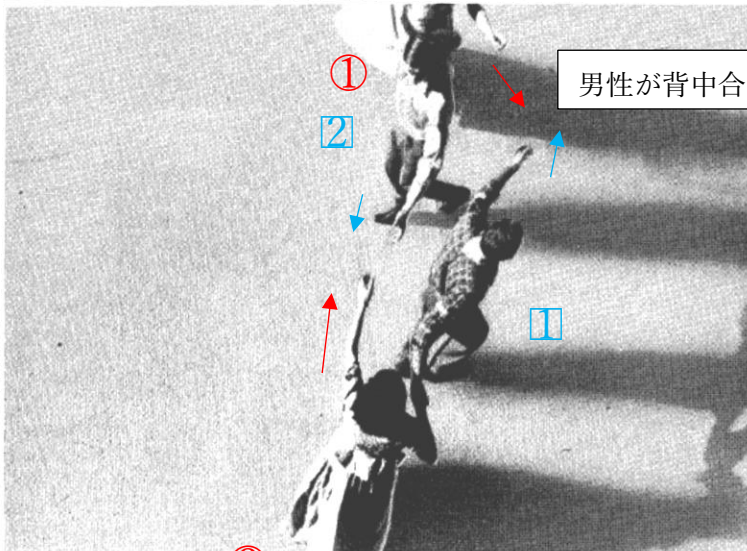
6. カウント 11~12  
*"And a little more doe"*  
 コーナーと右手  
 (訳注:女性は男性の周りを  
 時計回りに廻り(続き))



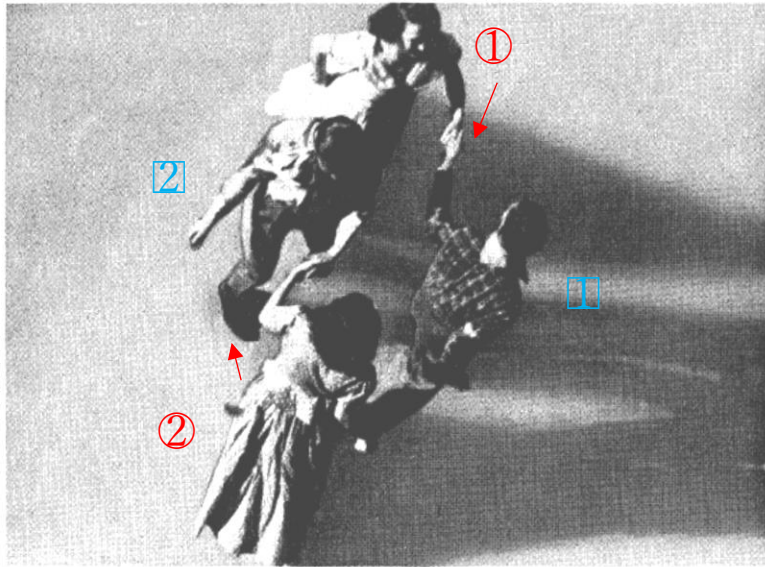
7. カウント 13~14  
 “Chickin’ in the bread tray”  
 コーナーと右手(続き)  
 (訳注:男性はその場でコーナーと右手を取る)



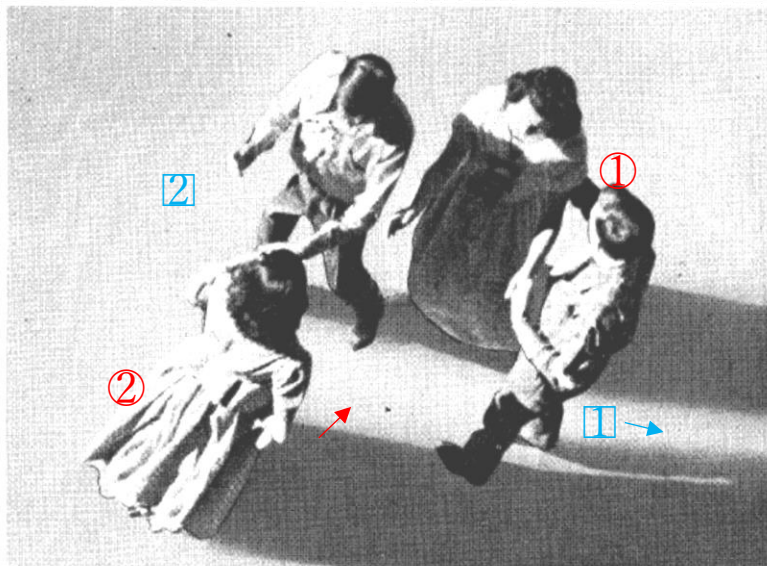
8. カウント 15  
 “Pickin’ up”  
 コーナーと右手(続き)  
 男性は円内向きのまま、  
 男性は女性を後ろを通す  
 (訳注: コーナーと右手を取る。  
 男性は 1/2 シーズを始める)



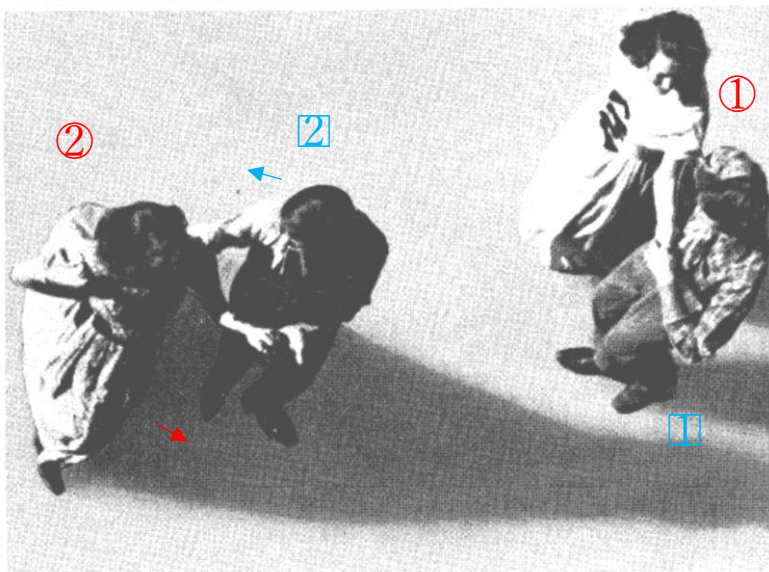
9. カウント 16  
 “the dough”  
 男性が背中合わせ  
 (訳注:男性は 1/2 シーズを  
 続けて背中合わせに)



10. カウント 17~18  
*"One more change"*  
 パートナーと左手を取り、  
 カーティシー・ターンへ



11. カウント 19  
*"and home"*  
 カーティシー・ターン(続き)



12. カウント 20  
*"we go!"*  
 カーティシー・ターン(続き)

やすいことがわかるでしょう。今、男性が、女性の手をつかむために少し前進し、女性を自分のうしろへ廻すときに少し後退することは、本能的に全く正しいです。彼らはいつも向き合い方を調節しながら、女性とフリー・ステップで優雅にジグザクに少し前進後退します。

実際は、カップルが上達したら、見せびらかすような動作を入れます。最も使われる見せびらかし動作は、自身のパートナーを左手で廻す時に男性どうしが互いに背中合わせで通り過ぎ、手を離し、フル・ピボット回転し続けてオポジットの女性を右手で回転させ(訳注: この回転が日本では曲解されたと思われまます)、さらにフル・ピボット回転してパートナーと左手を取ります。これはケンタッキー山脈から伝わった古い形の Docey-doe です。

ある高齢の西部開拓者が”ladies doe”とコールされた時は docey-doe に先立って、女性たちが普通のニュー・イングランドの dos-a-dos をするのを見たことがありました。さらに”and gents you know”とコールされた時は男性たちが dos-a-dos をしました。そして”circle four and docey-doe”とコールされてから、上記に述べた docey-doe をしました。実のところ、やがて、この”ladies doe and gents you know”は docey-doe の際のコーラーのお決まりのパター(無駄話)になっています。コーラーは docey-doe のコールで、楽しむためにいろいろなバリエーションでしゃべっているだけなので、初心者はこのパター(無駄話)を気にする必要はありません。あなたが”docey-doe”と聞こえたら、上記の動作をしながら、コーラーに勝手に喋らせておきましょう。よく聞くパター(無駄話)は、もし聞き取れるなら、次のようなものです。

Four hands up and here we go  
Around and around and a docey-doe.  
A doe and doe and a little more dough,  
Chicken in the bread tray pickin' up the dough  
And one more change and on we go.

これが動作にピッタリあっていて、あなたとパートナーが”on we go”でちょうど docey-doe の動作が終わって(訳注: 当時はコールと動作が同タイミングです。(現在は動作に先行して、コールしますが))、次のカップルと次の動作に移る時だとわかると思います。

---

訳注: 4人の docey doe を、現代のスクエア・ダンサー向けにメインストリームのコールで近似してみました。

スクエア・セットから、  
前振りとして Heads, right and left thru, heads, circle four half way をしてから、  
Head ladies, 1/2 left dosado, (look left 顔だけ左),  
Find original partner, and left touch 1/4,  
Head ladies, 1/2 circulate (or 1/2 trade),  
Find opposite, and touch 1/4,  
Head boys, 1/2 left dosado (look left 顔だけ左), while head ladies, 1/2 circulate (or 1/2 trade),  
Find partner, and courtesy turn, then home.

## バリエーション

西部の一部で、改変されたあるいは単純化された docey-doe を見つけました。それは女性が男性の周りをフィギュア・エイトで2回廻るだけのものです。下記のコールに従って、

Swing your opposite with your right,

Now your partner with your left,

Now your opposite with your right,

Now your partner with your left,

これは、最初に女性が間を通過して左を向くことがないので、初心者には易しいでしょう(訳注:「女性が男性の周りをフィギュア・エイトで2回廻る」なので、男性は円内向きのままと考えられます)。これがどうしてできたか——原型がとても難しく、忘れられた——を納得します。このような単純形が生まれるのは自然です。問題は、各グループで自分のバリエーションが正しいと思うことです。彼らは何ら悪気なく、「正しいやり方ですか? 間違ったやり方ですか?」と尋ねるでしょう。その真意は、「私のやり方ですか? あなたのやり方ですか?」ですが。彼らは動作の歴史をほとんど知りません。彼らは、最初に習ったやり方が(それがたとえ先週であったとしても)「古い方法」と感じ、今週習ったバリエーションはそれがどんなに古くあるいは信用のおける方法だとしても「新しい方法」だと感じます。各グループがそれぞれ唯一正式なものであり、その他のものは時代遅れであると感じる自尊心です。

---

### 訳注: エル・パソ式8人のドーシーダーのバリエーション Do Paso

テキサス州 Texas のエル・パソ El Paso では、docey-doe を8人で踊っていました。それがドー・パーソー Do Paso として広まりました。その(現存する)古い形式は、前振りを含め、スクエア・セットから、(Put the) ladies center back-to-back, men promenade that outside track, get back home, Do Paso, とコールされます。この前半は、女性がスクエア・セットの内側に入りパートナーを向く動作であり「女性が背中合わせ」になります。現在のスクエア・ダンスの each couple, ladies fold. に相当します。次は男性がサークル上を反時計回りに1周して元の位置に戻ります。最後の Do Paso の一般的な動作は、まずパートナーと左手回転し、次に(オポジットではなく)コーナーさんと右手回転し、パートナーに戻ってカーティシー・ターンをするものです。

上記前振りの後では、左手回転時には、男性は、女性をスクエアの内側から外側へ引き出すため、左手を取りつつ、ほぼその場で自身が回転軸となり、約1/4回転するだけでコーナーさんの方向に向きます。この時女性は男性の周りを反時計回りに約半回転して廻り込んでスクエアの最外側に行き、コーナーさんの方向に向きます。

すると、男女それぞれの目の前にそれぞれのコーナーさんが現れるので、左手を離してそれぞれのコーナーさんのところへ行き、右手で約半回転します。言い換えると、男性はコーナーの女性の右手を取り、女性を円内→自分の右側→スクエアの最外側へとリードします。コーナーの女性は、男性の周りを時計回りに半周します。

すると、目の前にパートナーが現れるので、カーティシー・ターンをします。

---

訳注: 現代のスクエア・ダンサー向けに、4人の docey doe を、2人の左肩 dos-a-dos と Do Paso で説明を試みます。

歴史的には、まず2人の dos-a-dos ができ、4人の docey doe ができ、やがて Do Paso が生まれたのですが、現代のスクエア・ダンサーは Basic で2人の dos-a-dos と Do Paso を習います。そこでこれらの応用として、4人の docey doe を説明するとわかりやすいかもしれません。実はいずれも「背中合わせ」を意味する動作だったのです。数頁前の docey doe の12枚の写真を見ながら以下の説明を読んでください。

まず、ヘッド(第1組と第3組)の4人でサークルを作り、左へ回転しましょう(写真1)。回転し終わったら(写真2)、きれいな4人のサークル上で、手を繋いだままで、位置を確認しましょう。男性同士は向き合っています。女性同士も向き合っています。男性から見て、パートナーは右真横ではなく、斜め内側(円の中心から右90°以内)にいます。コーナーさん(実際はオポジットさんですが)は前方や左真横ではなく、斜め内側(円の中心から左90°以内)にいます。この定位置を良く覚えておいてください。

はじめに独特の方法で、女性が位置交換をします。それを現代のスクエア・ダンサー向けに言うと、Head ladies, 1/2 left dosado、つまり左肩の dos-a-dos を半分だけ行います(写真3,4)。結果として、**女性とおし**が明示的に**背中合わせ(=dos-a-dos 状態)**になるので、この一連の動作が docey doe という名前で今も呼ばれ続けているのです。背中合わせをしっかり強調しましょう。言い換えると、明示的に「背中合わせ」をしないのは、docey doe ではありません。ただし、体が背中合わせの状態のとき、左手を横にあげて、顔だけを左に向け、パートナーを見つけ、左手どうしを取る準備をします(写真3,4)。ここまでの間、動作自体は1/2 left dosado なので、女性の「体の向き」は変わりません。

次に、現代のスクエア・ダンサー向けに言うと find partner, Do Paso となります。まず「パートナーと左手回転をしてコーナーさんの方向を向きます」ですが、左手回転のスタート時(写真4)と終了時(写真5)の位置を確認しておきましょう。スタート時は、女性の位置交換が終わったあとなので、女性は「コーナーさんの定位置(上記参照)」に位置し(写真4)、パートナーの男性と向き合います。このとき男性は女性の方向を、つまり「コーナーさんの定位置」を向いています。それからお互いに近づきつつ、左手どうしを取り、反時計回りに回転します(写真5)。左手回転終了時の位置は、男性は「コーナーさんの定位置」(つまりほぼスタート時にパートナーの女性がいた所)を向くことになります。女性は取り敢えず円外、つまりパートナーの男性より外側まで移動し、円周方向(LOD=円周の反時計回り方向)を向きます(8人の Do Paso だと、このときすでに女性のコーナーさんが見えませんが、4人の docey doe だとまだ見えません)。ここで手を離し、女性はコーナーさんに出会うまで、円周上をさらに歩きます(写真6)。左手回転時の男性の回転量は、スタート時と終了時がほぼ同じなので、ほぼゼロです。その場で、自分自身を左手回転の軸としてわずかに回転するだけです。一方女性は、左手を繋いだまま、円内から円外まで半円を描くようにパートナーの男性の周りを大きく廻ります。この時、男性は左手で女性の回転を助けるようにリードします。「男性の体」はリードのためその場で左へ90°近くまで回転することがありますが、顔は「コーナーさんの定位置」を向いたままにします。

次に Do Paso の第2部分の「コーナーと右手回転をしてパートナーの方向を向きます」ですが、そのスタート時(写真6)と終了時(写真8)の位置を確認しておきましょう。スタート時は、女性は「コーナーさんの定位置(上記参照)」に位置し、コーナーの男性と向き合います。このとき男性は女性の方向、つまり「コーナーさんの定位置」を向いています。右手どうしを取り、時計回りに回転し始めると、一瞬**女性どうし**が**背中合わせ**になります

(写真7)。右手回転終了時の位置は、男性は「パートナーの定位置(上記参照)」(まだそこにパートナーは来ていませんが)を向き、女性は取り敢えず円外、つまりパートナーの男性より外側まで移動し、円周方向(逆 LOD=円周の時計回り方向)を向きます(写真8) (8人の Do Paso だと、このときすでに女性のパートナーが見えませんが、4人の docey doe だとまだ見えません)。ここで手を離し、女性はパートナーに出会うまで、円周上をさらに歩きます(写真9)。右手回転での男性の回転量は、「コーナーさんの定位置」から「パートナーの定位置」までの右 90° 以下なので、ほぼその場で、自分自身を回転の軸として 90° 以下の回転をするだけです。一方女性は、右手を繋いだまま、円内から円外まで半円を描くようにパートナーの男性の周りを大きく廻ります。この時、男性は左手で女性の回転を助けるようにリードします。リードのため実際のところ男性はさらに 90° 近く回転することがあります。

最後に「パートナーとカーティシー・ターンをする」ために、ここで男性はパートナーを迎えに行きます。ここでこのスタートの男性の位置関係を確認しましょう。パートナーとの右回転の終了時なので、お互い自分の「パートナーの定位置」の方向を向いています(写真8)。男性どうしの位置関係は、斜めに向き合っている状態です。男性は素直にパートナーに向かうのではなく、迎えに行く通路として、Head boys, 1/2 left dosado をしながらとなります。このとき**男性どうしが明示的に背中合わせ**になりますので(写真9)、背中合わせの部分はしっかり、強調しましょう。ただし、体が背中合わせの状態のとき、左手を横にあげて、顔だけを左を向け、パートナーを見つ、左手どうしを取る準備をします(写真10)。そしてカーティシー・ターンをしながら(写真11,12)、自分のオリジナルの位置に戻ります。なお、カーティシー・ターンとは、まずパートナーと互いに左手を取り、男性は左へ向きつつ、カップルの二人で同方向を向くように調整しつつ、男性は右手を女性の右腰に置き、二人の間を回転軸として男性が後退し女性が前進する方向で回転し、最終的に内側を向くと、いう動作です。

付録: 第2部 コール  
フレームワーク

docey-doe コール

この章に docey-doe のパターコールのバリエーションがたくさん載っていたので、ここに載せます。動作は同じです。(訳注: 当時のパターコールは、音楽のほぼすべてのビート(拍)に言葉を載せるようにしゃべり続けるタイプが多いようでした。内容は動作を分解して指示するものだったり、単なる語呂合わせのおしゃべりだったりです。また、現代のラップのように、韻を踏みます。)

- (1) Circle four and docey-doe.
- (2) Four hands up and here we go,  
Around and around and a docey-doe.
- (3) Docey-doe with the gent you know,  
Ladies go C and the gents go doe!
- (4) Four hands round, and round you go.  
The ladies go C and gents go doe!
- (5) Four hands round,  
Gents patter down,  
Ladies step out,  
And go to town.
- (6) Four hands up and around you go,  
Docey ladies and gents also.
- (7) Four hands up and around we go,  
Ladies docey – docey-doe!
- (8) Break and circle four in a ring,  
With a docey-doe and docey-ding!
- (9) Four hands up and here we go  
Around and around and a docey-doe.  
Doe and a dough and a little more dough,  
Chicken in a bread-tray pickin' up the dough,  
One more change and on we go.
- (10) Circle four – ladies doe and the gents say “no.”  
Chicken in a bread-tray pickin' up the dough,  
Some use a shovel and some grab a hoe,  
One more change and on we go.
- (11) Four hands up and here we go,  
Around and around and a docey-doe.



Hurry up boys and don't be slow,  
You'll never get to heaven if you don't do so.  
One more change and on you go.  
最後の2行は下記のように聞こえることもあります  
You'll never kiss your uncle if you don't do so.  
One more change and on you go.

- (12) Circle four in the middle of the floor,  
Half way round as you did before.  
Ladies doe and the gents you know,  
Hurry up boys and roll your dough!
- (13) Docey lady and docey gent,  
Docey lady and on you went,  
Docey lady and a docey-doe,  
Docey lady and on you go!
- (14) The ladies doe and the gents you know,  
By gosh! You ought to know,  
With a million doses of docey-doe.  
One more change and on you go!
- (15) Up the river and around the bend,  
Four hands half and goin' again.  
Ladies doe and the gents you know.  
One more change and home you go!
- (16) Ladies doe and the gents you know,  
Four hands up and around you go!  
Around and around and a docey-doe.
- (17) Circle four  
And swing your opposite with your right,  
Now your partner with the left,  
And on to the next.

以上